

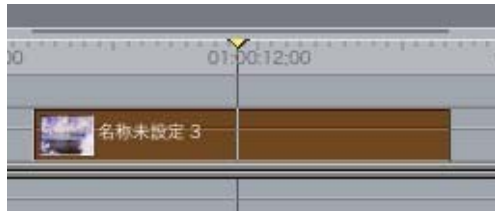
FxScript Trial

# GhostAjüst

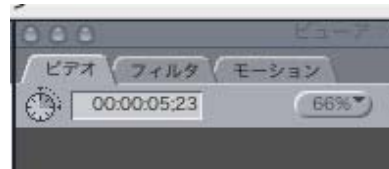
- **フィルターの設定**
- **プラグの機能**
- **ナビゲーションの説明**

# Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。  
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

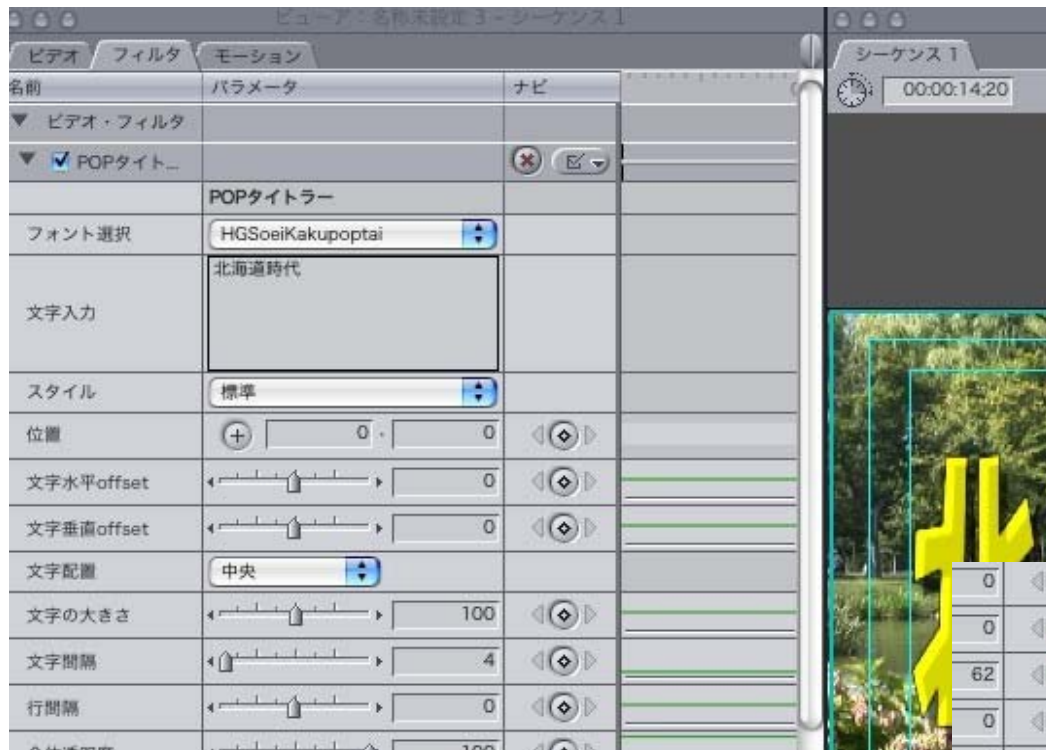


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



## ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

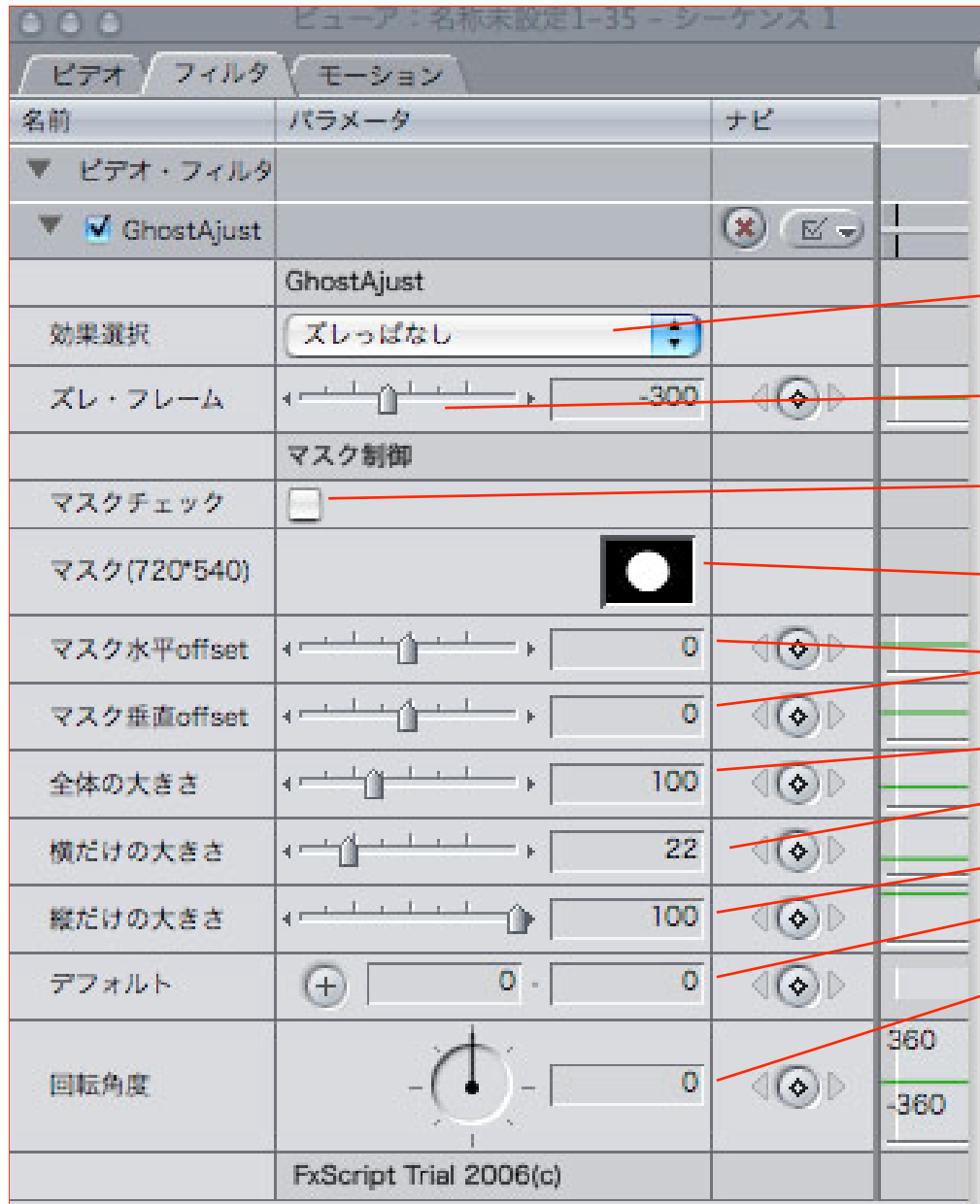
項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変わる。



画像に設定されたプラグ

# GhostAjust



GhostAjustは次の3つの効果を想定しています

1. ズレっぱなしの状態が継続する効果（ただしズレのフレームをナビで設定する事で効果の可変ができる）
2. クリップの長さ内で+-に設定したズレ・フレームが通常の動画に収束する動き
3. ズレっぱなしの中でマスクをかける事でマスク内は通常の動画となり周辺の半透明の動画と際立った違いを見せる効果  
マスクの注意点はマスクをかけるターゲットの周辺の動きと動作が重複していない事がより効果的に表現できます。

ズレっぱなしとクリップの長さで収束の2種類があります。クリップの長さで収束の場合はカミソリで効果をかけたい時間を決定しそこにフィルターをかけてください。

フレームの前後調整は+-1800フレーム（60秒です）

マスクはマスク内に画像がなければ効果を発揮しません。マスクチェックはマスク位置を透明な白で確認できます。レンダリングではチェックボタンを外してください。

マスクは黒地に白の素材に限定します。丸を添付しますがマスクジェネで作られても結構です。

水平、垂直のオフセットは直感的にマスクの位置を設定するものです。デフォルトも位置設定ですがどちらも使用できます。

マスクの全体の大きさ

横だけの大きさ

縦の大きさ

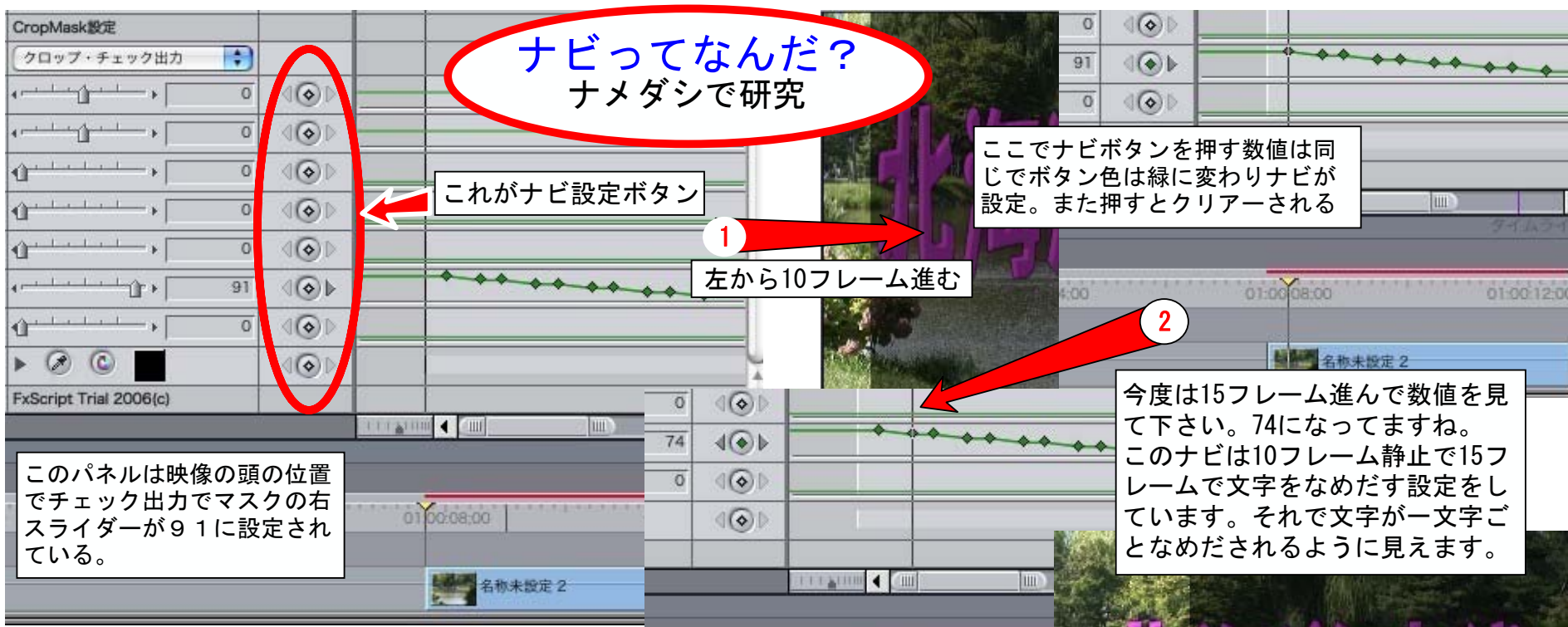
デフォルト位置設定

マスクの回転角度設定

マスクでターゲットを追いかける場合はナビを使います。詳しくはナビ設定を参考にしてください。

デモ映像とご購入はこちら

**FxScript Trial**



デモ映像を見る  
クリック



**ナビゲーションの説明**

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見る事が出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。